

イベント・レポート

7月18日(木)の合同訓練に参加してきました。



令和元年7月18日に秋田市で開催された日本水道協会東北地方支部主催の合同訓練に参加しました。今回の訓練は、地震等の災害で秋田市が被災し、大規模な断水が発生したことを想定したもので、滝沢市は応援事業体として、秋田市の豊右浄水場に参集し応急給水を行いました。北東北地区の約10事業者が参集し、お互いに刺激を受けながら、実際に応急給水を行う有意義な機会となりました。

ちなみに、滝沢市では2,000リットルの水を輸送できる給水タンク車があります。滝沢市の指定避難所及び応急給水所は36か所あり、災害時これらの場所が集まる想定される100人から800人に水を届ける役割を果たしています。

給水車の扱い方の確認になってよかったです。災害は急に発生するため、定期的に訓練しておくことが大事だと改めて感じました。岩泉の災害では、職員が交代で給水活動に行っていたので、普段の担当業務に関係なく、どの職員も給水車を扱えるように普段から備えておく必要があります。

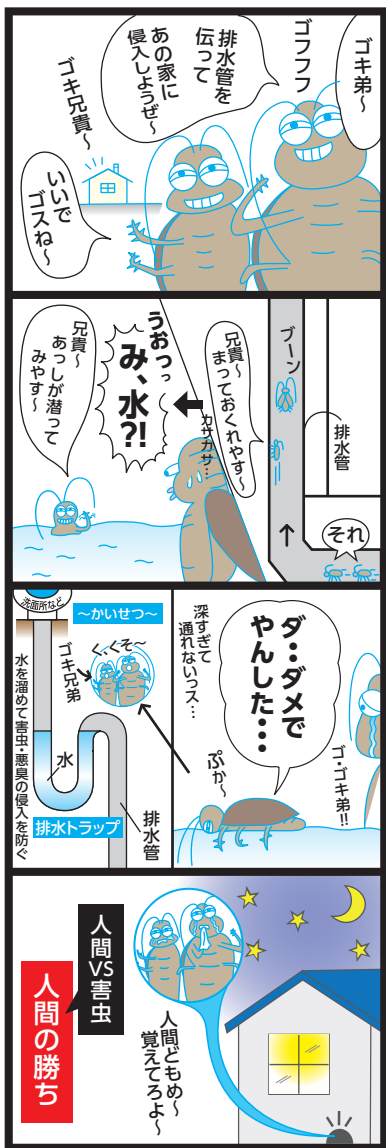


実際に訓練を行った職員の感想



4コママンガ

●知られざる戦い



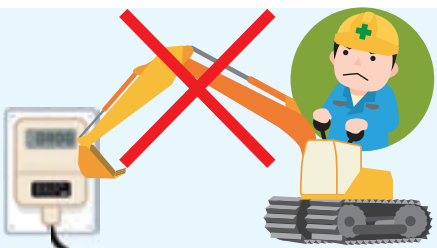
今年の夏も上下水道部が滝祭に出展します。身近でありながら、意外と知らない上下水道のことを楽しく学べるチャンスです！親子でも楽しめる企画になっています。ぜひ、お越しください。

滝祭2019 今年もお楽しみに!

8月24日(土)〜25日(日)

inビッグブルー滝沢

水道メーターを壊さないで!



水道メーターを破損する事象が発生しています。水道メーターは水道使用者に貸与しているものであり、破損した場合、弁償していただくこととなります。地上・地下メーターとともに、それを繋ぐケーブルも切断しないようお願いいたします(建物解体に伴う破損が多いですが、解体等で水道設備を撤去する場合は、事前に上下水道部に工事申請が必要です)。

おしえて! 水道博士!



水道なんでも Q&A

Q 給水タンク車って、どんなはたらきをするの?

A 市では、給水タンク車を1台保有しておる。これは、災害で断水した地域に水を供給するために使われているのじやよ。タンクには2,000リットルの水を入れることができるのじや。災害時には1人1日あたり3リットルの飲料水が必要といわれており、約700人に届ける分を運べるというわけじやな。

また給水タンク車にはポンプが備わっており、高い位置へ水を送ることもできるのじや。東日本大震災では、給水活動のため沿岸部につけたぞ。市内で起きた災害に限らず、困ったときは地域を越えて助け合っているのじや。

クイズに答えて

素敵な景品を

もらっちゃおう!

クイズ

滝沢市で保有する給水タンク車には水が何リットル入るのでしょうか?

- ①500リットル
- ②1,500リットル
- ③2,000リットル

クイズに正解した方の中から抽選で5名様様に、素敵な景品をプレゼントいたします。

応募方法はがき又はメールに、「住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・感想」を書いて水道総務課宛に御応募ください。
【締切】令和元年9月30日(ハガキは当日消印有効)
【送付先】

〒020-00692 滝沢市中鶴飼55番地 水道総務課行
【メールアドレス】youkin@city.takizawa.iwate.jp
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
なおお書きまから寄せられた感想は次回の広報で紹介させていただきます。